

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・既存店の売上は対前年比101.4%、来客数は102.8%となっており、少し伸びてきている。	
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの反動から、需要の落ち込みを予想していたが、大きな落ち込みがみられない。	
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・パソコンは前年実績を下回っているが、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などが好調であり、全般的には販売量が増えている。	
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク以降、土、日曜日の来客数が増加している。	
		その他専門店【CD】（店員）	販売量の動き	・販売数量が、徐々に増加している。	
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・目玉商品を目当ての客が多いが、徐々に高額商品を購入する客も増えている。	
		その他住宅【不動産】（経営者）	来客数の動き	・駐車場や事業用の不動産の買い注文が増加している。	
	変わらない		一般小売店【生花】（経営者）	競争相手の様子	・同業者も売上が伸び悩んでいる。また、先月、近隣の同業者が閉店したため、来客数が増えると期待していたが、あまり増えていない。
			一般小売店【書籍】（営業担当）	販売量の動き	・来客数は増加しているが、売上は前年割れの状態が続いている。年代別でみると、10代から20代の購買が大きく落ちている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・高額商品は、催事企画が功を奏したため健闘しているが、サンダルなど夏物商品については、前年のような購入意欲が見られない。	
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・シャツ、ブラウスは百貨店で買うが、ズボン、スカートは量販店で買うといった状況が見受けられ、客単価が上がらず、厳しい状況が続いている。	
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・気温が上昇し、夏物商品の売上増を期待していたが、競合店が売上不振のためか、目玉商品による広告攻勢を強めており、あまり増えていない。	
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・購入態度が非常に慎重であり、特に高額商品が売れていない。また、一品買いが多く、セット買いの客が少ない状況が続いている。	
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・相変わらず価格にシビアであり、単価が上がらない。	
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・販売量は落ちているが、客単価が上がっており、なんとか前年実績をキープしている。	
		都市型ホテル（経営者）	お客様の様子	・景気が悪いという声あまり聞こえなくなってきたが、良くなったという話もない。依然として、底這いが続いている。	
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・具体的な商談件数は、変わらない。	
やや悪くなっている		一般小売店【乾物】（店員）	販売量の動き	・売上、来客数ともに低調で、値引きやサービス競争が厳しい。	
		一般小売店【菓子】（販売担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク期間中の売上が、対前年比1割程度減少している。	
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・夏物商品は、低価格の単品買いが中心であり、客単価が下がっている。	
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数、客単価ともに落ち込んでいる。	
		観光型旅館（経営者）	単価の動き	・宿泊単価が安く、しかも、館内での消費も落ちていることから、売上が伸びない。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・ゴールデンウィーク中は、雨の日が多かったことから、客の動きが少なかった。売上は、前年対比15%程度の減少となっている。	
悪くなっている	一般小売店【酒類】（経営者）	販売量の動き	・酒の量販店が、飲食店など大口顧客に対して営業活動を強化しており、苦戦している。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（店長）	単価の動き	・客単価が下がっており、売上が減少している。また、週末の来客数は増加しているが、平日と日曜日の動きが悪い。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明け以降、特に平日の来客数が少ない。駐車場経営者は、商店街に来る客の少なさに嘆いている。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・地場産業である家庭紙関連の荷動きが、多少であるが増加傾向にある。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・4月は比較的安定した受注があったが、5月に入るとユーザーの慎重な態度が表面化してきており、本格的な回復基調ではない。
		電気機械器具製造業（経営者）	競争相手の様子	・リストラを実施してきた企業では、業績が回復しているところもあるが、中国製品の流入により価格が厳しくなっている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・小口の運送料金は、やや上向き基調にあるが、輸送物量は、少しずつ減少している。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・不動産広告が目立つようになり、一戸建て分譲、分譲マンションが多少動いている。しかし、個人消費に関しては、まだまだ財布の紐は固く、婦人服専門店が今月開催した秋冬物受注会では前年実績の7割程度に止まっている。
	やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・百貨店等の店頭販売が、少し動き出した雰囲気もあるが、相変わらず輸入品との競争から、単価下落がみられる。
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・従来なら単独指名で受注できていた少額の工事が、相見積を要求されるようになっている。	
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数の動向に大きな変化がみられない。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・就業希望のスタッフの人数に対し、派遣依頼の企業が少なく、求職者と求人数とのアンバランスが出ている。
	やや悪くなっている	求人情報誌制作会社（従業員）	周辺企業の様子	・求人広告を出すと即座に決まり、広告出稿が続かないという状況が多数見受けられる。
新聞社〔求人広告〕（担当者）		周辺企業の様子	・ここ20年間も広告を継続的に出していた企業が、しばらく休むとか、隔月だけ広告をするという状況が見受けられる。	
職業安定所（職員）		求職者数の動き	・新規求職者数は、対前年同月比で28か月連続で増加している。また、リストラを想定しているサラリーマンや廃業を考えている自営業者の求職が非常に多い。	
	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・採用に関し、より慎重になってきており、社員数の削減傾向がみられる。	
悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人が10か月連続で対前年同月比マイナスとなっている。特に、建設業は3割を超える減少、サービス業でも1割近い減少となっている。また、求人の内容も、緊急雇用創出基金により、期限付き雇用が求人数の底支えになっている。	